

第4回企画展

*A university is an institution
where character is developed
through learning.*

天野 貞祐 特別展

Teiyu Amano

2014年10月22日 水 ▶ 2014年12月23日 火



大学は学問を通じての
人間形成の場である

哲学者・教育者としての「天野貞祐」の足跡をたどります。
自筆原稿・日記など非公開の資料を展示します。



獨協大学天野貞祐記念館1階
獨協歴史ギャラリー
<http://www.dac.ac.jp/gallery/>

月曜日～金曜日 10:00～16:45
土曜日 10:00～11:45 日曜日・祝日 休館
お問い合わせ: 048-946-2800

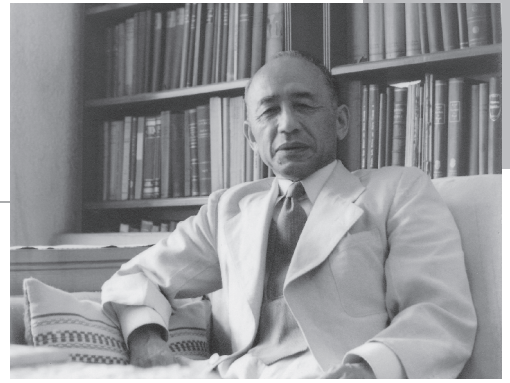
■10月22日(水)当日は、13時からオープンいたします。
※入学試験期間中及び大学の休校日に準じて休館いたします。

獨協大学
創立50周年



あまの ていゆう
天野 貞祐

1884(明治17)年～1980(昭和55)年



■1884(明治17)年

9月30日 神奈川県津久井郡鳥屋村(現・相模原市緑区)に生まれる。

■1897(明治30)年

獨逸学協会学校中学に入学。

■1901(明治34)年

獨協野球部で活躍したが、足を痛め退部。その後、母と共にチフスにかかり、母を亡くした。失意のうちに中学を退学。

■1905(明治38)年

獨協中学5年に復学、ドイツ留学から帰国直後の校長・大村仁太郎に出会う。

■1906(明治39)年

獨協を首席で卒業し、旧制第一高等学校に入学。1909(明治42)年 京都帝国大学に進学した。1912(明治45)年に京大卒業、大学院に進学した。

■1913(大正2)年

処女論文「カント学者としてのフィヒテ」を発表した。1914(大正3)年、旧制七校(現・鹿児島大学)にドイツ語教師として就任。

■1919(大正8)年

学習院教授となって上京した。1923～24(大正12～3)年はドイツ、ハイデルベルク大学に留学。

■1926(大正15)年

京都帝国大学助教授となる。

■1930(昭和5)年

カント『純粹理性批判』の訳業がついに完成した。現在は講談社学術文庫に四冊本で収録されている。翌年、京大教授、文学博士となる。

■1937(昭和12)年

『道理の感覚』(岩波書店)を出版したが、右翼・軍部から強い反発と強迫を受け、翌年、自発的に絶版。

■1939(昭和14)年

名著『学生に与ふる書』(岩波新書)を刊行。

■1944(昭和19)年

京大を退職。旧制甲南高校(現・甲南大学)校長となる。

■1946(昭和21)年

旧制一高の校長となる。

■1950(昭和25)年

第三次吉田内閣の文相に就任(1952年まで)。

■1952(昭和27)年

獨協中学高等学校校長に就任(1970年まで)。

■1964(昭和39)年

獨協大学を創立し初代学長に就任した。

■1980(昭和55)年

3月6日、武蔵野市の自邸にて、逝去。享年96。

(「回想 天野貞祐」より抜粋)

獨協歴史ギャラリー アクセス

天野貞祐記念館 1階

 DOKKYO HISTORICAL GALLERY
獨協歴史ギャラリー

〒340-0042
埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学天野貞祐記念館1階
日比谷線・半蔵門線直通
東武伊勢崎線「松原団地」駅下車西口徒歩5分

